



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成30年10月号 (第269号)

特集

地盤沈下調査結果について P2



「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催しています (P4)



「第5回三河湾大感謝祭」を開催します (P6)



「全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します (P7)



「アクション油ヶ淵 2018」を開催しました (P8)



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



愛知県では、昭和36年から継続的に地盤沈下の状況を観測・調査しています。この度、平成29年に実施した水準測量、地下水位観測等の調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

1 平成29年の地盤沈下の状況

地盤の高さを計測し、地盤沈下の状況を調査する水準測量は、県内を尾張・名古屋市、知多、西三河、東三河の4つの地域に分けて行っており、平成29年は尾張・名古屋市地域と西三河地域において実施しました。

尾張・名古屋市地域で1年当たり1cm以上沈下した水準点は2点観測されましたが、沈下域（隣接する3点以上で1年当たり1cm以上の沈下が見られた地域）はありませんでした。昭和40年代に地盤沈下の激しかった尾張・名古屋市地域では、昭和50年代に沈下速度は鈍化し、昭和60年以降はおおむね沈静化の傾向を示しています（図1）。

また、西三河地域では1年当たり1cm以上沈下した水準点はなく、沈下域もありませんでした。西三河地域の地盤沈下は、昭和60年以降、おおむね沈静化の傾向を示しています。

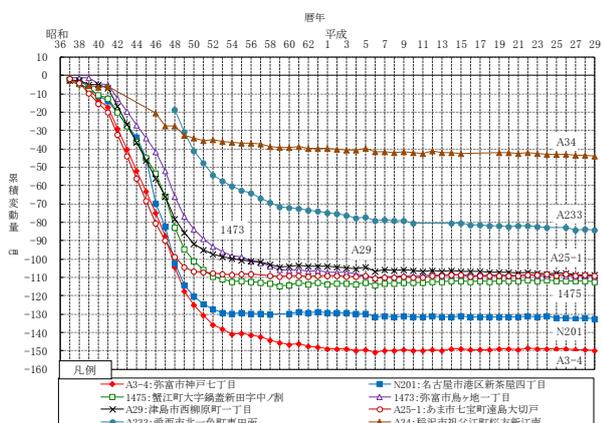


図1 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況
(尾張・名古屋市地域)

2 地下水揚水量の状況

地盤沈下の進行と密接な関係がある地下水揚水量については、昭和50年度には県内で約2,500千 m^3 /日ありましたが、尾張地域の揚水規制の効果などにより年々減少し、平成16年度以降は1,000千 m^3 /日を下回っています（図2）。

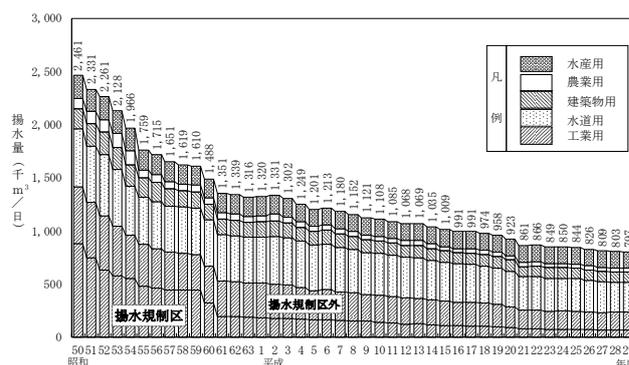


図2 愛知県の地下水揚水量

3 まとめ

平成29年及び過去の調査結果から、県内の地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあります。しかし、渇水時には、雨水など地下に浸透する水量の減少や揚水量の増加により、地下水位が急激に低下し、広範囲な地盤沈下の発生する可能性が依然としてあります。

一旦沈下した地盤は元には戻りません。地盤沈下が発生すると、浸水被害等の危険度が高まることから、引き続き地盤沈下調査や地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000035266.html>)

水大気環境課 生活環境地盤対策室
地盤沈下対策グループ
電話 052-954-6224 (ダイヤルイン)

県民向け「化学物質セミナー」を開催します

化学物質は私たちの快適な暮らしに欠かせないものですが、使い方を誤ると人や動植物に悪影響を与えてしまうおそれがあります。そこで、身の回りの化学物質に対する理解と関心を深めるため、愛知県は名古屋市との共催で、県民の皆さんを対象としたセミナーを開催しています。

今年度は、身の回りのにおい・かおりとの上手な付き合い方などについて、専門家からご講演いただきますので、是非ご参加ください。

- 1 日時 10月16日(火) 14:00～16:00
- 2 場所 愛知芸術文化センター12階
アートスペースA
(名古屋市東区東桜一丁目13番2号)
- 3 定員 150名(応募者多数の場合は抽選)
- 4 参加費 無料

5 講演内容

- (1) 化学物質とわたしたちの暮らし
名古屋市環境局地域環境対策課職員
- (2) 暮らしの中のおい・かおり
大同大学工学部建築学科かおりデザイン専攻
教授 光田 恵 氏

6 申込先 名古屋市環境局地域環境対策課 有害化学物質対策係

7 申込方法

①氏名、②電話番号、③お住まいの市町村名を、電話(052-972-2677)、FAX(052-972-4155)又はEメール(a2677@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp)により、10月12日(金)までにお知らせください。

〔環境活動推進課 環境リスク対策グループ〕
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を開催します

化学物質による環境や健康への影響を減らすため、愛知県は名古屋市との共催で、化学物質を取り扱っている事業者の皆さんを対象としたセミナーを開催しています。

今年度は、化学物質関連法令の施行状況や、災害・事故に備えた化学物質管理などについて、環境省及び化学物質の専門家からご講演いただきますので、是非ご参加ください。

- 1 日時 10月22日(月) 13:30～16:00
- 2 場所 鯉城ホール(伏見ライフプラザ 5階)
(名古屋市中区栄一丁目23番13号)
- 3 定員 600名(申込み先着順)
- 4 参加費 無料
- 5 講演内容

(1) 化学物質排出把握管理促進法の施行状況等について

環境省大臣官房環境保健部環境安全課

主査 関口 眞行 氏

- (2) 災害や事故に備えた化学物質管理について
—地震・水害・火災・漏えいなどによる事故事例の紹介とその対策—

環境省事業化学物質アドバイザー

寺沢 弘子 氏

6 申込方法

Webページから、事業所名、申込人数、氏名、メールアドレス等の情報を入力の上、お申込みください。

(http://www.pref.aichi.jp/kankyo/cgi-script/prtr/event/event_view.cgi)

〔環境活動推進課 環境リスク対策グループ〕
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

あえる
「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催しています

愛知県内の 172 の環境学習施設等が連携して、「AEL ネット*環境学習スタンプラリー」を開催しています。

対象施設等への来館、講座・イベントへの参加によりスタンプを集めて応募していただくと、スタンプの数に応じて、抽選で図書カードなどの記念品をプレゼントします。

1 開催期間

平成 31 年 2 月 28 日（木）まで

2 対象施設、講座・イベント等

ECO をテーマとした講座や観覧会のほか、楽しい工作などを実施する施設等もあります。施設や講座・イベントによっては、予約が必要なものや有料のものもあります。



スタンプ帳

※AEL ネット

「愛知県環境学習施設等連絡協議会【Aichi Environmental Learning Network】」の略称で、愛知県内の環境学習施設等が協力して、地域における環境学習の推進を図るために設置されたネットワーク

3 記念品

★A 賞～C 賞：いずれも図書カード

A 賞：5,000 円分【スタンプ 9 個】…抽選で 5 名様

B 賞：3,000 円分【スタンプ 6 個】…抽選で 20 名様

C 賞：1,000 円分【スタンプ 3 個】…抽選で 100 名様

★W チャンス賞：A～C 賞に当たらなかった方の中から、抽選で 350 名様に「スタンプラリー参加施設のオリジナルグッズセット」をプレゼントします。

4 応募方法・締め切り等

スタンプ帳（スタンプラリー対象施設で配布）についている応募はがきにスタンプを集め、平成 31 年 3 月 7 日（木）【必着】までに事務局（あいち環境学習プラザ）へ郵送してください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(http://aichi-eco.com/ael_stamprally/)

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011（ダイヤルイン）

「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」
に登録いただける個人・団体を募集します

愛知県では、県民の皆さんの自発的な地球温暖化対策活動を支援するため、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」を新たに開設します。開設に当たり、「温暖化まなびネット」に講師や指導者等としてご登録いただける個人や団体を募集していますので、是非ご応募ください。

1 応募要件

県内で地球温暖化の講師等として活動できる個人又は団体

2 応募期限 10 月 10 日（水）

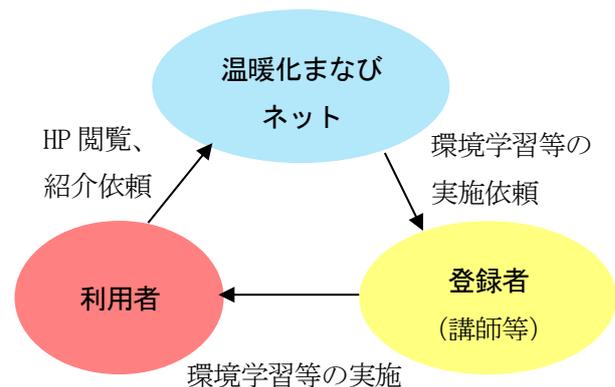
3 応募方法

所定の登録申請書をメール及び郵送の両方で事務局に提出してください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet-bosyuu.html>)

【温暖化まなびネットとは】



県民の皆さんが自発的な地球温暖化対策活動をする際に、ニーズに合わせて講師や指導者等を選ぶことができるよう、登録された講師等の情報を掲載し、紹介します。

地球温暖化対策課 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）

10月は「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」です

愛知県では、生活排水対策に関する基本方針に基づき、10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、市町村や浄化槽指定検査機関等と連携し、川や海などの汚れの主な原因である生活排水への関心を高めるとともに、浄化槽の適正な維持管理の重要性等について周知しています。

1 実践しよう！生活排水対策

浄化槽や下水道などでは、微生物の働きによって生活排水の汚れを分解し、きれいな水に処理しています。ただし、その能力には限りがあります。汚れた生活排水を流しすぎないように心がけることが大切です。

私たちの身近には、簡単にできる生活排水対策がたくさんあります。皆さんも、できることから少しずつ始めてみましょう。

身近な生活排水対策



洗う前に汚れを拭き取る。



水切りネットを活用する。



油は直接流さず、古新聞などに吸わせて可燃ゴミに出す。



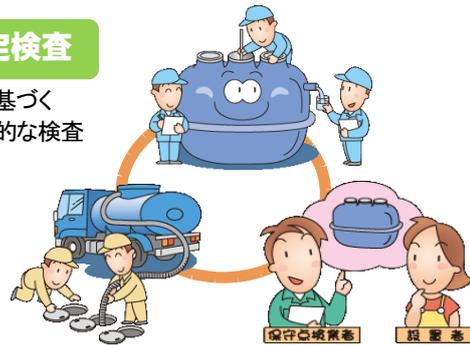
洗剤は適量を使用する。

2 浄化槽の維持管理が大切！

法令により浄化槽管理者（一般住宅の場合、世帯主）は、適正な維持管理を行うことが義務付けられています。浄化槽を十分に機能させるためには、①法定検査（水質検査等）、②保守点検、③清掃の3つを全て行う必要があります。

法定検査

法に基づく総合的な検査



清掃

汚泥等の引き抜き・洗浄

保守点検

機器の点検・調整・修理

浄化槽の維持管理

適正な維持管理の詳細については、県 Web ページ (<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/000053773.html>) 若しくは、お住まいの市町村や最寄りの県民事務所等の環境保全担当課などにお問い合わせください。

3 月間中のキャンペーン

〈街頭啓発〉浄化槽指定検査機関及び地元市と連携し、浄化槽の維持管理や身近な生活排水対策への関心を高めるため、啓発資材の配布などを行います。

日	時間	場所
10月 16日(火)	10:00～12:00	名鉄豊田市駅
10月 17日(水)	10:00～12:00	名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅
10月 18日(木)	10:00～12:00	アビタ江南西店
	9:00～10:00	名鉄豊川稲荷駅・JR豊川駅
10月 19日(金)	10:15～12:00	アビタ稲沢店
	13:30～15:30	稲沢パールシティ
10月 22日(月)	10:00～12:00	フィール春日井店
	13:00～15:00	ピアゴ篠木店(春日井市)
10月 24日(水)	18:00～19:00	名鉄本宿駅

〈イベント〉(公財)日本環境整備教育センターの主催で、「第32回全国浄化槽技術研究集会」が開催されます。浄化槽に関する研究・事例発表、シンポジウムなどが行われます。詳しくは、大会Webページ (<https://www.jeces.or.jp/spread/meeting.html>) をご覧ください。

開催日 10月9日(火)・10日(水)

場所 名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
生活環境グループ
電話 052-954-6220・6219 (ダイヤルイン)

「第5回三河湾大感謝祭」を開催します

愛知県では、多くの人々に三河湾に関心をもってもらい、三河湾の再生に向けた取組の機運を高めるため、平成24年度から「三河湾環境再生プロジェクト」として様々な取組を行っています。

その取組の一つとして、10月28日（日）に蒲郡市民会館において、「第5回三河湾大感謝祭」を開催します。

元シンクロナイズドスイミング日本代表の^{あおきあい}青木愛さんによる環境トークショー、三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員と上流域で活動する団体によるシンポジウムのほか、三河湾関連のブース出展、海の生きものの展示、海の生きものロボットの実演、「ガマゴリうどん」の無料試食会や三河湾の海の幸の出店など、楽しみながら学んでいただける企画をたくさん用意しております。

また、同日、蒲郡市民会館周辺では「第14回くらふとフェア蒲郡2018」が、同市民会館内では「名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会」が開催されます。

事前の申込みは不要です。皆さんの参加をお待ちしておりますので、是非お越しください。

1 日時

10月28日（日）10:00～16:00

2 場所

蒲郡市民会館
（蒲郡市栄町3番30号）

3 主催・共催

主催：愛知県
共催：蒲郡市

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ

4 参加費

無料

5 プログラム

(1) 中ホール

- ・セレモニー

主催者挨拶

蒲郡市ジュニア吹奏楽団の演奏

- ・元シンクロナイズドスイミング日本代表の青木愛さんによる環境トークショー

- ・「アイドル教室」によるステージとクイズ大会

- ・よさこいチームによるダンスステージパフォーマンス 等

(2) 東ホール

- ・三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員と上流域で活動する団体によるシンポジウム
- ・参加型ブース出展やクイズラリー
- ・～いいね！三河湾～美SEA（うつくしい）写真展

(3) 大会議室

- ・ふしぎなスケッチブックで海の生き物をつくろう！
- ・海の再生を目指す取組の紹介

(4) 屋外

- ・海の生きものの展示
- ・海の生きものロボットの実演
- ・「ガマゴリうどん」の無料試食会
- ・三河湾の海の幸の出店
- ・未来の乗り物「インモーション」の体験 等

6 その他

天候の状況、出演者の都合等により、内容を一部変更又は中止する場合があります。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/30mikawawan-kansyasai.html>)

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）



「全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します

10月には、環境省が主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」です。愛知県では、この月間に合わせて愛知県ウォーキング協会と共催で「第37回全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します。今回のコースは、瀬戸市内の定光寺公園を出発し、春日井市内の玉野園地等を経由し東海自然歩道の緑豊かな自然を歩く全長約7kmのコースです。是非ご参加ください。

1 日時 10月21日(日)

9:00 集合、9:30 出発、12:30 解散予定

2 集合場所 定光寺公園(瀬戸市定光寺町地内、JR定光寺駅から徒歩25分)

3 コース 瀬戸市・春日井市内の東海自然歩道ほか約7km(定光寺公園～玉野園地～春日井市都市緑化植物園)

※起伏のある山道を通る健脚者向けのコースです。

4 参加費 無料(事前申込不要)

5 参加資格 制限なし(小学生以下の参加については、保護者の方の付き添いをお願いします。)

6 その他

- ・昼食、飲み物、雨具、健康保険証を持参ください。
- ・駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- ・小雨決行。雨天中止は当日6:30頃に決定。
- ・コースマップ等の詳細は自然環境課 Web ページをご覧ください。(https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/arukou-20181021.html)



昨年度の様子(瀬戸市)

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン)〕



「2019愛知環境賞」へのエントリーを募集しています

愛知県では、2005年の愛知万博を契機に、資源循環や環境負荷低減に関する優れた取組を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

2 募集対象者

企業、団体又はグループ(個人の応募は不可)

3 募集対象事例

省資源、省エネルギー、新エネルギー、3Rなどの資源循環や環境負荷低減に関する先駆的で効果的な<技術・事業>や<活動・教育>

4 募集期間

9月3日(月)～10月31日(水) 必着

5 応募方法

応募用紙に必要事項を記載の上、10部(正本1部、副本9部)を持参又は郵送で提出してください。

なお、全てのデータを格納したCD-R等の電子媒体も併せて1部提出してください(電子メール不可)。応募用紙はWebページからダウンロードできます。

6 提出先

愛知県環境部資源循環推進課循環グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

7 選考結果の公表

平成31年1月下旬予定

詳細はWebページをご覧ください。

(https://aichikankyoushou.jp/)

〔資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)〕

「エコ モビリティ ライフ 県民の集い 2018」参加者募集

愛知県では、クルマ（自家用車）と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイル「エコ モビリティ ライフ」（エコモビ）を推進しています。この度、環境にやさしい交通行動「エコモビ」の魅力や取組の紹介、実践の呼びかけを行う「エコ モビリティ ライフ 県民の集い 2018」の参加者を募集しています。皆様のご参加をお待ちしております。

- 1 日時 11月9日（金） 13:30～15:30
- 2 場所 愛知芸術文化センター12階
（名古屋市東区）

3 内容

- (1) 平成30年度「エコモビ推進表彰」表彰式、表彰団体による取組発表
- (2) 講演
「エコモビ・エコ旅」
ラジオパーソナリティ ^{かわもと}川本 えこ さん

4 参加申込み方法

①「県民の集い 参加希望」②代表者氏名③住所④連絡先（電話・FAX・メールアドレス）⑤参加人数⑥このイベントを知ったきっかけの6点を明記の上、はがき、FAX 又は Web ページにより交通対策課までお申し込みください（11月2日（金）必着）。

※定員 250 名、申込み先着順。

宛先：〒460-8501（住所記載

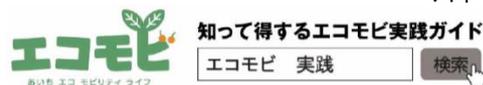
不要）FAX:052-961-3248

Web ページ：[https://www.pref.](https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/)

[aichi.jp/kotsu/ecomobi/](https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/)



川本 えこ さん



振興部 交通対策課

エコモビリティライフ推進グループ

電話 052-954-6125（ダイヤルイン）

「アクション油ヶ淵2018」を開催しました

愛知県と周辺4市で構成する油ヶ淵水質浄化促進協議会は、県内唯一の天然湖沼である油ヶ淵の水質浄化の取組の一つとして、啓発イベント「アクション油ヶ淵」を毎年度開催しています。今年度は、9月1日（土）に、今年4月にオープンした油ヶ淵水辺公園自然ふれあい生態園において開催しました。

イベントでは、油ヶ淵の生きものや環境に関心を持ってもらえるように様々なプログラムを実施しました。

ミニビオトープをつくる講座では、油ヶ淵の在来生物を使ったミニビオトープをつくりながら、生きものに関わり合いを学びま

した。また、外来生物を学ぶ講座では、外来生物を知ることを通じて在来生物の保護の大切さを知って



いただきました。さらに野鳥観察の講座では、オオタカを始め多くの野鳥が飛来し、油ヶ淵の生きもの豊富な垣間見ることができました。

そのほか、油ヶ淵クイズや水質調査体験、碧南工業高校製作の水質浄化ロボット紹介の各ブースを回るスタンプラリーとともに、油ヶ淵の生きものに触れるタッチプールも実施し、多くの皆さんに油ヶ淵や生活排水について関心を高めいただきました。

時折雨が降るあいにくのお天気でしたが、ご来場の皆さんに笑顔になっていただけるイベントとなりました。

水大気環境課

生活環境地盤対策室

三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220（ダイヤルイン）





大学生を対象とした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」では、8月から9月にかけて、研究員がチームごとにパートナー企業・団体の現場に赴き、提示された研究課題を解決するための調査・研究を実施しました。今回は前月号に続き4チームの状況を紹介します。

詳細はWebページをご覧ください(<https://sustaina-ken.net/>)。

1 チーム・イケア

【研究課題】サステナビリティに対する意識を高めるお客様参加型イベントを検討せよ

チーム・イケアでは、同社の日本国内店舗で最もサステナビリティに配慮した設計がなされている長久手店内を調査し、導入している



企業担当者との意見交換の様子

太陽光発電設備や地中熱利用設備、販売している環境配慮商品について説明を受けました。これらを踏まえ、サステナビリティに対する社会の意識が一層高まることを目的に、お客様と一緒に実施するイベントについて検討を進めています。

2 チーム・JA

【研究課題】若者が農業の環境保全機能を実感し農業応援団となるPR方策を検討せよ

チーム・JAでは、愛知県の農業の現状やJAの概要について説明を受けるとともに、JAあいち豊田における環境保全型農業の実



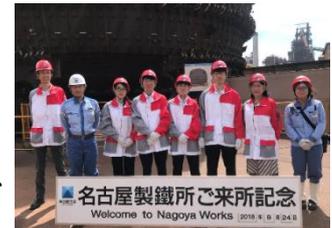
環境保全型農業の調査の様子

施による「赤とんぼ米」の栽培の取組について調査を行いました。これらを踏まえ、若者が農業応援団として積極的に地域農業に関わりたいと思える方策について検討を進めています。

3 チーム・しんにつつまきん

【研究課題】LCAの視点による鉄の環境へのやさしさについて広く普及する方策を検討せよ

チーム・しんにつつまきんでは、同社の環境への取組状況の説明を受けるとともに、実際に製鉄所内において鉄の製造工程や各種



製鉄所内の現場調査の様子

施設も調査し、製造からリサイクルまでのライフサイクル全体で見た場合の鉄製品の環境優位性について理解を深めました。これらを踏まえ、この「鉄の環境へのやさしさ」をわかりやすく伝え、広く普及させる方策について検討を進めています。

4 チーム・デンソー

【研究課題】“smart move”を実践し、社会に普及させる方法を検討せよ

チーム・デンソーでは、同社が実施する社会貢献活動や環境配慮の取組の概要について説明を受けるとともに、エコドライブ講習の受



解決策の検討の様子

講や工場訪問におけるPHV車の乗車等を通じて、“smart move”の取組を実際に体験しました。これらを踏まえ、CO₂排出の少ない移動を実践する“smart move”の効果的な普及方法について検討を進めています。

〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)〕

愛知県で活動する自然公園指導員が平成30年度自然公園関係 功労者環境大臣表彰を受賞しました

環境省では、自然公園の保護とその適正な利用に関して、顕著な功績があった方を讃えるために「自然公園関係功労者環境大臣表彰」を行っています。

今年度は全国から31件が選ばれ、本県からは、天竜奥三河国定公園において自然公園指導員として長年ボランティアで活動されてきた中井雄次なかいゆうじさんが受賞されました。



表彰式の様子（平成30年8月11日）

<受賞者及び功績>（敬称略）

・中井 雄次（東栄町）

平成10年から、公園内の情報収集に努め、歩道の管理や清掃を継続しているほか、森林組合職員として勤務した知識や技術を活かし、観光客等へ野生動物に関する注意指導や事故防止の指導を行うなど、自然公園利用者への適切な指導等に尽力された。

<参考> 自然公園指導員について

環境省からの委嘱を受け、主に国立公園及び国定公園において自然公園の保護や適正な利用の促進のため、公園利用のルールやマナーの徹底、自然解説、事故防止等の助言、指導や情報提供などを行うボランティアです。

〔 自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227（ダイヤルイン） 〕

登録していない象牙を売ることは違法です

環境省では、国内にある象牙の在庫を把握し、象牙を厳格に管理する取組を行っています。所持しているだけであれば問題ありませんが、事前に種の保存法に基づく登録をしていない象牙を売ったり譲渡したりするのは違法です。未登録の象牙をお持ちの方はご連絡ください（全形を保持した象牙のみが登録対象です。印鑑やアクセサリなど象牙製品は登録対象外です。）。

○連絡先 象牙在庫把握キャンペーン事務局

電話 03-6659-4660（土日祝日を除く10時～17時）

所有者死亡による近親者への相続は違法になりませんが、その後に販売等をする場合にはあらかじめ登録が必要です。また、象牙以外の国際希少野生動物種についても登録が必要なものがあります。

なお、環境省は、2019年6月頃から象牙を含む国際希少野生動物種の取引規制をさらに厳しくすることについて検討しています。

〔 自然環境課 野生生物・鳥獣グループ
電話 052-954-6230（ダイヤルイン） 〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成30年10月1日発行（第269号）
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489（ダイヤルイン）

編集後記

暑かった夏も終わり、過ごしやすい季節になってきました。秋は読書やスポーツなどいろいろなことにじっくり取り組むことのできる季節ですね。

環境問題としては、温暖化対策の他、マイクロプラスチックも話題になっています。身近にできることから考えて、省エネを心掛ける、過剰包装を断るなど、少しでも行動に移していきたいですね。
（企画・編集チーム）

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。